

# とある憩いの場にて 小さな事件

和食店にパートとして働きに、俺は駅まで30分列車で3駅かけて行っている。

最寄り駅からはその店はすぐの場所にある。

片田舎ではあるが、駅や幹線道路沿いということもあってそこそこ流行っている。

土日などは大量の注文。

厨房で働いているのだが、伝票が次から次へと出てきて休まる暇がない。働いているという実感があっていい。

働き始めた当初は苦しくもあったが、仕事を覚え慣れてきて楽しく

なってきた最近だ。

そんな俺には憩いの場があって、仕事終わりにそこへ足しげく通っている。

街中の銭湯である。

二階が飲食店になっていてその横に喫煙所、くつろげるフリースペースがある。一階はロッカーと受付。

そして三階が銭湯である。

ここ最近、古い銭湯は廃れた。

商店街も寂れ、昔からある店などはもはやレトロの博物館のような

外観。軒先の暖簾や看板、テントなどだけが形骸的に残っていて、寂しい雰囲気も感じさせる。

先日は、旅行者なども訪れる大きめの温泉も経営者のいろいろ込み入った事情があったらしく、潰れてしまった。

そんな中で、その温泉は活気がある。

駅前ということもあって通いやすい立地である。

そこが俺の仕事終わりの憩いの場所となっている。

先日そこで人が倒れた。

体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました。